



広域行政推進の年

森吉町長 近藤 富治郎



澄んだ元日の朝を迎え、心から新年の寿ぎを申し上げます。

町民の皆様共々、行く年を思ひ来る年を思うとき、目まぐるしい時勢の中で、自己を見つめ、社会の連帯性に立脚して、生成発展を祈念する才であります。

戦後、私達の生活が混乱の中から今日、異状なまま

年頭のこゝば

議会議長 高田俊三



と、森吉町発展に一時代を画す大足跡を残したことは、心から喜びに堪えないところであります。

しかしながら今後に残された課題も少なくなく、懸案の米内沢小学校の新築、湯ノ沢までの併用林道拡充改良、観光開発などがあり、町議会としても、良識と熱意をもって郷土発展に努力する覚悟でありますので、一層のご協力を切にお願いして年頭のご挨拶と致します。

町民の皆様、新年おめでとうございませう。

昭和三十九年中は待望の葉たばこ収納所の完成、森吉町公民館(前田)の新築、前田簡易水道の竣工、湯ノ沢までマイクパス運行など、

発行所 森吉町役場
編集 企画室
印刷所 米内沢 中央印刷所
発行部数 3,000部
毎月10日発行1部5円

世帯数と人口 (39年12月31日現在)

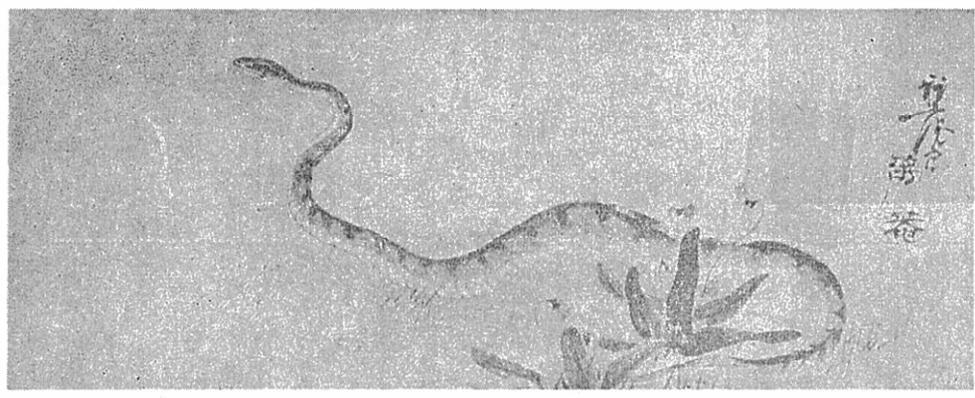
世帯数	2,872
人口	7,323
男	7,860
女	15,183
人口密度	44.4人

10大ニュースの当選者きままる

10大ニュースの投票は年毎に盛んとなるようで、今回は投票総数一六一人、前回約二倍に及びました。

近藤町長の再選が一位

投票結果は▽一位、近藤町長の再選(一四九票)▽二位、又奇歌が名勝天然記念物に指定(一四九票)▽三位、公立米内沢総合病院の完成(一四九票)が二つ。▽四位は、公立



平福穂庵筆 (庄司兵蔵氏 藏)

仕事に信仰を相互理解で和

町長が職員に訓示

近藤町長は一月四日、仕事はじめの日に役場職員に対して、要旨次のように挨拶した。

「年頭に当り皆さんにお願いしたいことは、仕事に対する信仰、相互理解による和の心を持つてほしい。お互いに与えられた仕事を持つて、素直に

一三八点▽四位、湯ノ沢温木内) ◎二等、六名

佐藤徳松(神成) 金隆志 (御嶽) 金隆一(本城) 菅原久治(堺田) 土佐静子(同) 土佐長一郎(同)

◎三等、三十名

▽本城、柴田信勝、新林位、石田芳相の来町(八五点)▽九位、小畑知事が小又喜一郎▽前田、宮野栄直、本城谷久治、齊藤寅太郎、藤慶蔵、岸野鉄男、柴田勝治、松浦房雄、高橋清、松浦三郎▽堺田、土佐佐太郎、土佐伊左エ門、菅原勝治、土佐鶴治、菅原長治郎、土佐長治、土佐米蔵、土佐力松、小杉山竹松▽柏木信、柴田晃道▽米内沢、設楽常吉、松井菊之助、細田巳之(菅林住宅) 柴森純蔵(女) 松▽日榮、佐藤豊吉

補正予算など20件 12月定例会で可決

十二月九日開会後十日より休会中の町議会十二月定例会は、同日二十五日に再開され、昭和三十九年度補正予算案、職員給与改訂のための条例案、監査委員の選任等二十件を上程、全議案を原案どおり可決して午後四時閉会した。

人事関係 言を可決。

監査委員の選任

「全町民とともに献血都市の理想を結成するため、ここに森吉町を献血都市とすることを宣言する。」

衛生施設組合の規約変更を協議

「鷹巣町、森吉町、上小阿仁村三ヶ町村衛生施設組合」に隣町の合川町も参加することになったため規約を変更することの協議。

同組合の設立は十二月十八日県から正式許可になった。

火葬場設立に 言を可決

森吉町、合川町、上小阿仁村の三ヶ町村でかねてから話し合いを進めていた「森吉町外二ヶ町村火葬場施設組合」の設立を正式に議決し、設立許可の申請を県に提出することとした。

視聴覚教育協議会の設立を審議

大館市、北秋田郡の市町村が共同して視聴覚教育を振興させるため視聴覚教育協議会を設立することについて審議で、今後、地域市町村の特性に応じた視聴覚教育を行ない、生活文化の向上に資することになった。

協議会は鷹巣町公民館に事務局をおくことになる。

議員報酬の条例改正

議員に対する期末手当を〇、一ヶ月分増額するための条例一部改正。

職員の給与条例も 人事院勧告実施による職員の給与改訂を行なうための条例改正で、職員一人平均二千円の引き上げとなります。

一般会計予算に 七百万円を追加

▽除雪費に六十万円追加

これは冬期間の交通確保のためブルドーザー借上料

▽本城線、上野線の道路改良費(側溝改良)の追加五十六万円

▽猩紅熱予防補助など五十五万円を追加

これは猩紅熱まん延防止のための薬品代補助二十三万円と患者委託料(入院児童の医療費負担金)三十二万の追加

▽前田中学校技術室の備品費として二十万円追加

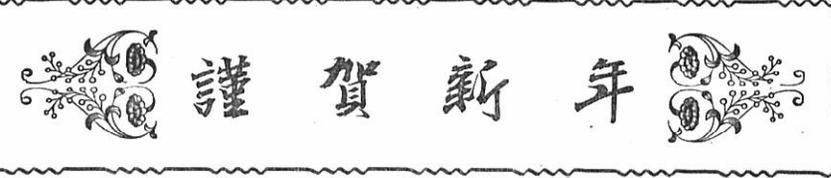
▽退職消防団員に対する報償金三十六万円

▽その他人事院勧告による給与改訂分の予算措置、三百七十七万円の人員費などで、一般会計予算累計、二億百四十八万八千円となりました。

議会だより

献血都市の 宣言を可決

町民相互の献血により、保存血液の自給体制を確立するため「献血都市」の宣言を可決



- | | | | |
|-------|-------------------|-----|----------|
| 町長 | 近藤 富治郎 | 町議会 | 議長 高田 俊三 |
| 助役 | 三 沢 栄 明 | 副議長 | 金 兵 一郎 |
| 収入役 | 木 村 長 治 郎 | | |
| 外職員 | 一同 | | |
| 教育委員会 | 委員長 木 村 泰 二郎 | | |
| | 委員長 金 村 為 助 | | |
| 農業委員会 | 委員長 奥 田 信 吾 | | |
| | 委員長 庄 司 喜 之 助 | | |
| | 委員長 奥 田 信 明 | | |
| | 委員長 片 岡 徳 二 郎 | | |
| | 委員長 桜 井 正 七 | | |
| | 委員長 吉 田 常 蔵 | | |
| | 委員長 新 林 吉 郎 右 二 門 | | |
| | 委員長 佐 藤 直 治 | | |
| | 委員長 奥 田 逸 郎 | | |
| | 委員長 石 川 作 七 | | |
| | 委員長 小 野 茂 助 | | |
| | 委員長 春 日 新 太 郎 | | |
| | 委員長 佐 藤 一 嘉 | | |
| | 委員長 森 川 福 治 | | |
| | 委員長 高 嶋 昭 二 郎 | | |
| | 委員長 金 逸 一 郎 | | |
| | 委員長 羽 場 盛 吉 | | |
| | 委員長 伊 藤 小 四 郎 | | |
| | 委員長 北 林 照 助 | | |
| | 委員長 佐 藤 富 助 | | |

町民の声



町政雑感

浦田 奥田 信明

(各) 種の電気器具や農機具もそろい、一般家庭的な空気に包まれたが、史上二番目の豊作をうたわれながら、その内情はそんなに明るくない。

(富) の平準化は促進される、し尿処理場、火葬場など社会福祉施設ではまことに多岐を極めていく。が町将の財政の見透しとなると

(森) 吉町の場合も似て出ない。設備の悪いところは医師の問題も含めて充分な医療は望めない。

(例) えば前田診療所を正常に経営しているのはどうしても年々かなりの赤字が出ることは承知のとおりであるが、赤字をおそれては充分の設備も出ない。設備の悪いところは医師の問題も含めて充分な医療は望めない。

(ま) た国づくりは人づくり、人づくりは農業者その他の産業基盤整備の問題についても同様である。自主財源なくしては

何事もなし得ない。

(加) えて現在の一般的な町の子算構成、即ち教室一つ建てるのも、橋一つかけるのも、国の補助に頼らざるを得ない。地方自治の自主性を唱えても、中央集権化はますます強まり、ひいては地方自治の崩れかねない。このことになりかねない。

(そ) こで私の言いたいことは、町の基本財産の造成、つまり、我が町の場合、広大な町有地、国有地に対する造林を長期的、重点的年次計画を立て、強力にこれを遂行することが肝要と考える。

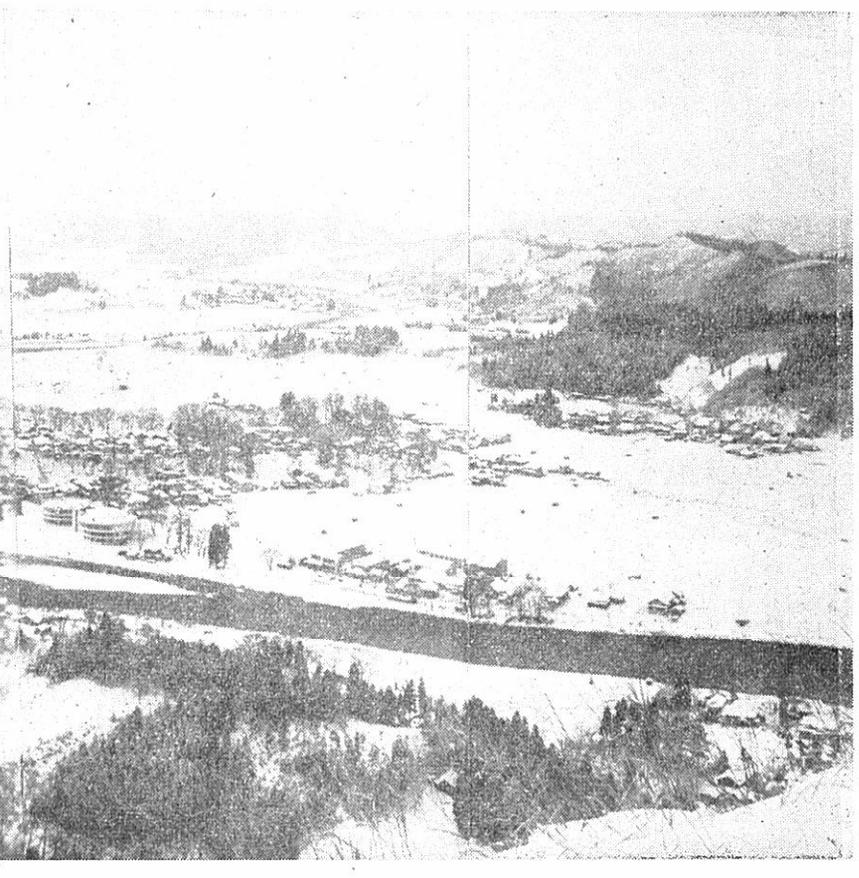
(勿) 論、現在も造林林を伸ばしてはいるが、来もおお上昇を予測できる

(人) 林は将来の財産づくりの対象にならないという人もあるが、戦後、木材の需要は全体的には非常に伸びていて、この傾向は将来もなお上昇を予測できる

(こ) のような互いの町政意識は特に人

(ま) た、〇〇委員会といういわゆる中立性が要求される委員選出に当って、ただ表面上の職業や立場のみに固執するためか、いわば、あたりさわりのないくぬるな湯人事々に終るのは、我が森吉町のみならず他町村においてもそうであるが、これなどその選出を規制する「法」そのものにも欠かぬところがあるが、あきらめなければならないことである。

(筆者は県政モニター 町議)

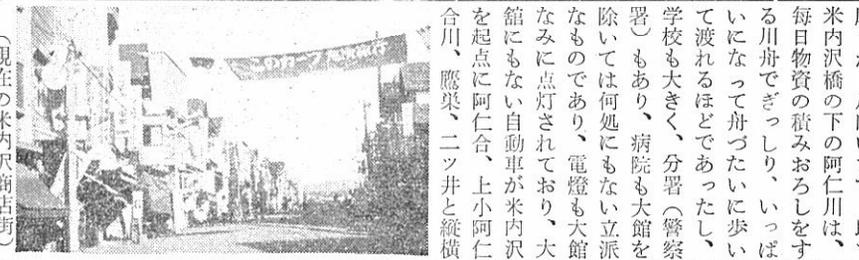


写真は七角山より見た前田中心部全景

まちづくり

大館の中学校に入学したばかりのことです。級友達仲間でお互いの郷里自慢が始まりました。その時に「米内沢」は阿仁部の中心地であるところ、大館、扇田の連中から、さも嘲笑するかのよう、阿仁の中心/中心地とばかり言われて、口惜しくてならなかった事を今でも忘れてはいません。

阿仁部の中心地であるところ、大館、扇田の連中から、さも嘲笑するかのよう、阿仁の中心/中心地とばかり言われて、口惜しくてならなかった事を今でも忘れてはいません。



米内沢の市日には郡内はもろろん、遠く南秋方面の街は往来も出来ぬ程、近在の人々で賑わい、そのため商家では用意しておいた握飯を食べる暇もない程に繁忙を極めたものであり、ま

冠省 近藤町長殿

米内沢 佐藤 直衛

業の倉庫(後に福田薬局倉庫)から川向いまで、即ち米内沢橋の下の阿仁川は、毎日物資の積みおろしをする川舟でぎっしり、いっばいになって舟つたいに歩いて渡れるほどであったし、学校も大きく、分署(警察署)もあり、病院も大館を除いては何処にもない立派なものであり、電燈も大館にない点灯されており、大館にもない自動車が米内沢を起点に阿仁合、上小阿仁合川、鷹巣、二ツ井と縦横

に走っており、大館には次ぐとしても、他は郡内どの町にも絶対に負けぬ立派な町であると深く信じて疑わなかったからであります。

その米内沢、森吉町、北秋とき、今日、果して森吉町に於いて、阿仁地方に於いて、果して昔日の地位を保持し、発展せしめ得ているであろうか。町民各自、それぞれに深くこの事に想いを致す可きではないでしょうか。

今、私は最も身に近い「医療」のことに就いて考えて見ることになります。

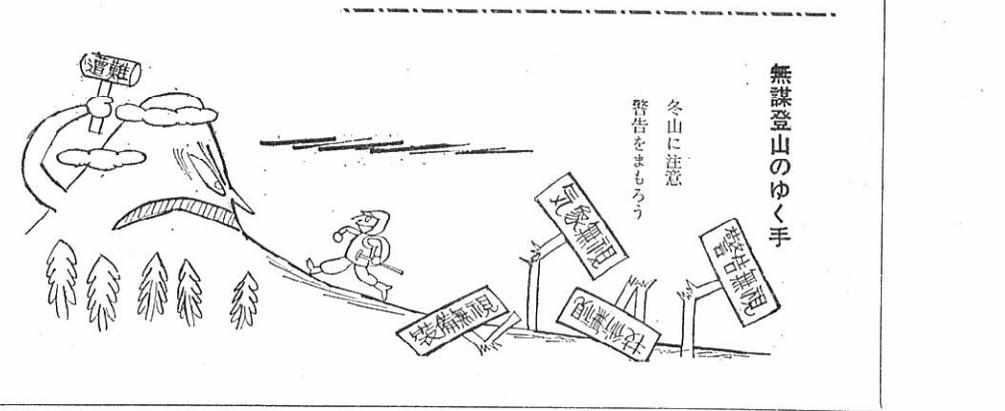
「医療」が衣食住に次いで人間生活に緊要不可欠のものであることを知った租税の先見に深く敬服せざるを得ないのであります。更に七拾有六年の昔に之が施設、公立米内沢病院の創

(筆者は県政モニター 歯科開業医)

新入学のことのために、だちとあまりかけはなれたぼつぼつ通学服のプランをりして、こどものためにもなりたい。はじめての通学服のプランをりして、こどものためにもなりたい。はじめての通学服のプランをりして、こどものためにもなりたい。

で利用し足りないものだけ、それぞれ自分の好みもでてを新調することにした。また制服のきまりのない、中学や高校・大学に進むころには、とくに女の子の場合、上級にすすむにつれて

無計画な登山はやめましょう



無謀登山のゆく手

冬山に注意 警告をまもろう

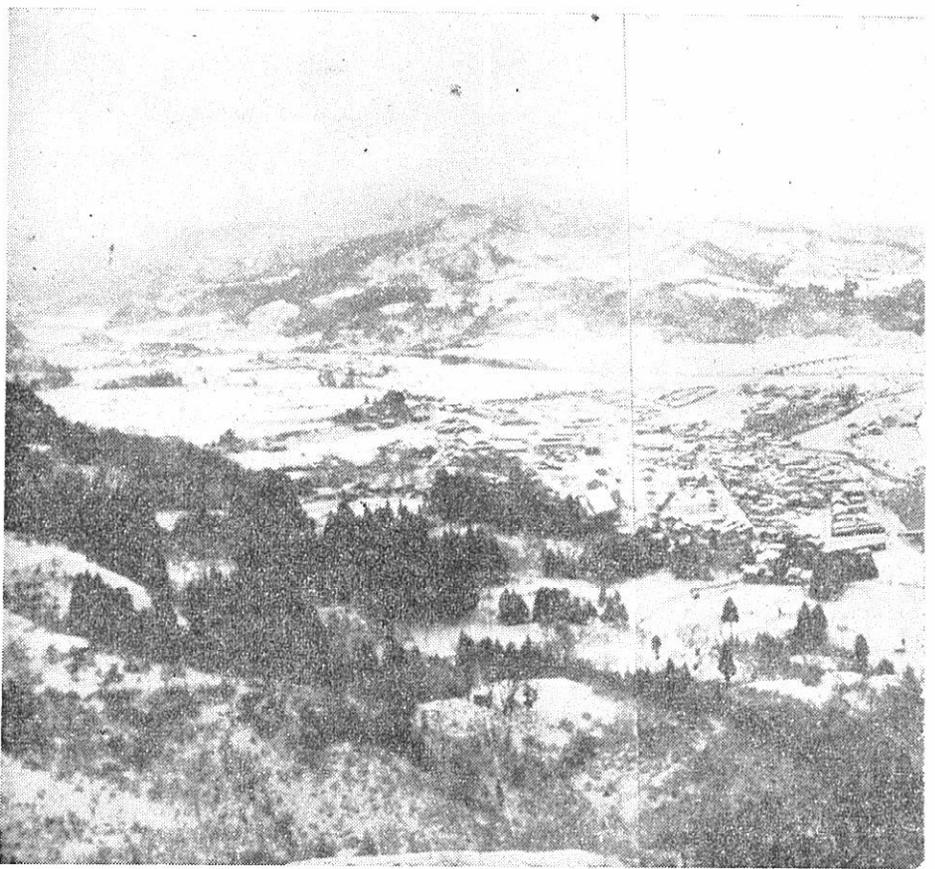
登山準備 服装無視 登山準備 登山準備

悪い環境には近よるな



盛り場にこんな標式はいかが?

映画 喫茶



明郷土く伸び

診療所の充実を

惣内 金沢 ヒナ



町民が町政に対しても

と関心を持つことは勿論大切なことであるので、町当局に於いても傍聴の場を広める機会を、今後計画的につくってほしいと思います。

②町職員の保健婦採用について

町民の健康保持のため、ま

た成人が子供対策として各部落を巡回し部の方々と色々相談できる保健婦さんを是非ほしいと思います。

③前田診療所について

前田地区は部の方が多いので、それに距離が遠いので急患の場合の往診や、その他についても仲々困難な点があるため、専任の医師を増員し前田診療所の充実をはかってほしいと思います。

(筆者は県政モニター 前田婦人会長)

町政に望む

根森田 三浦 一美



新年おめでとうございませう。お天気が西から変わるように農業の近代化も明らかに西から東へと移って来ています。

当町でも区画整理事業が着々行なわれ、農業基盤の整備が進められていることには喜ばしいことであるが、今後農業近代化を計画的に推進するため「新農村建設協議会」のようなもの設立して、農業構造改善事業のパイロット指定を受けるよう町当局にお願いしたいと思います。

西農農業を実際に見学し、農地を整備することだ

成人における言葉

米内沢中学校長 萩野重義



昭和四十年の新春を過ぎ成人の日を迎える二十才の若人の前途を祝福申し上げます。

戦後の新しい空気を吸って育った若人が、つぎつぎに社会に送り出され、清新の気が注入されるのは自然の理法であると同時に社会発展の原動力となることは今更言を俟たない所であり

挙権が与えられ、国の政治に一票を投ずる権利の所有者となったことであり、更に親の同意なしに結婚が出来、法律的には一家を構えることが認められることなることである。

ちよと今年に参議院議員選挙をはじめ、地方選挙が行なわれます。ささく権利行使の機会が与えられ得たこの貴重な権利を行使するにあたって、自分のちの夢をあぐまで生かすよう希望いたします。

若い人の夢をはたすには現実をあまりにも遠いとも思えないが、だからといって

公明選挙宣言の町、交通安全宣言の町、各地に於いて、郷土の人々に力強く呼びかけられて居り、これら運動の推進としても、看板おられない実践の原動力も、先ず若い人の示範こそ大切であると思えます。

健康で元氣にあふれた人間として、国民の活力の源泉となり、伝統的教養を身につけて、あくまで創造力を培って、今後真に国家社会の形成の一員として一層努力されることを希む次第であります。

成人となることにより得た公民としての権利と責任は、このように常につきまとい、実行に移して欲しい



観光と美林造成

小又峽が県の文化財に指定されたことは私達にとりて喜ばしいことですが、残

成人の日を迎えて

片方だけ
では
片方だけ
では
片方だけ
では

両方こそ
はじめて
完全

基本選挙人名簿登録人員

昭和39年12月20日確定

投票区	確定有権者数		
	男	女	計
米内	942	1095	2037
本城	232	274	506
浦田	254	313	567
駅前	216	271	487
長野	222	251	473
大野	63	63	126
前瀬	323	395	718
桂瀬	169	182	351
五味	241	272	513
小屋	352	399	751
新屋	166	187	353
巻内	198	219	417
桐沢	46	55	101
森田	78	77	155
小湯	197	199	396
ノ	57	59	116
湯	108	107	215
計	3864	4418	8282

基本選挙人名簿確定す

昭和三十九年九月十五日二十日確定しました。

現在で調製した基本選挙人名簿が昭和三十九年十二月のとおりで

念なことは、七、八年前の町有地解放土地がいまだに裸山のままになっていて、観光客に見せたくないのです。

しかし山持者は大部分、自己資本に乏しいため、い

つまでたつても同じです。そこで町当局にお願いですが、森林組合の合併等による国の制度を利用して、観光をかねて美林の町づくりを計画的に推進してほしいという事です。

年頭にあたり以上をお願

いして町民の声といたしま

(筆者は県政モニター 農業委員)

「家庭の日」を設けましょう

子どもを身心ともに健やかに育てるためには、まず和40年1月からのその月の才3日曜日を「家庭の日」と定め次のことを各家庭で実施されるよう呼びかけてお

- (1)この日は、家族のみんなが都合をつけて全員顔を
- (2)一日いっぱい家族全員で過ごすことができな家庭でも夕食後とかを、家庭の日の時間としてすこすこにしましょう。
- (3)家族全員での話し合いの場を設けましょう。
- (4)家族全員で楽しみましょう。
- (5)子どもといっしょに遊びましょう。
- (6)家族全員が力を出しあいましょう。

新有権者のプライド

おっとととと、これだけは何んなことがあっても絶対汚さないぞ。

秋田県 公明選挙推進協議会
秋田県選挙管理委員会
秋田県警察本部
秋田地方検察庁

